予算特別委員会を開催

事務事業を慎重に審査

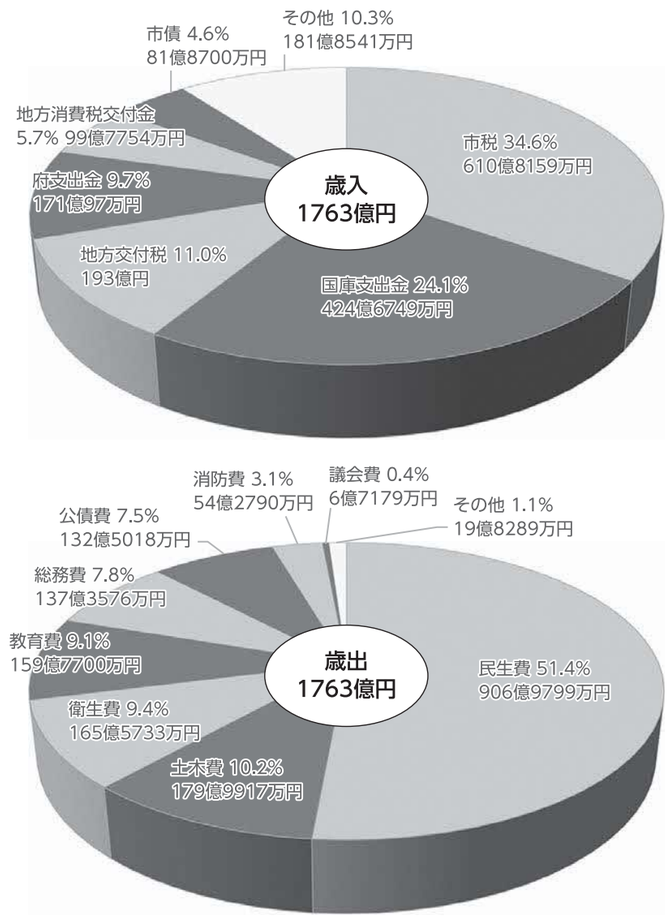
議会は、２月24日の本会議で、令和８年度の各会計当初予算案を、14議員で構成する予算特別委員会に付託しました。

令和８年度当初予算では、全庁一丸となり行財政改革の取組を着実に推進し、限られた財源や人的支援をより効率的かつ効果的に配分することで、最重点施策である子育て世帯に対する施策の一層の充実と枚方市駅周辺再整備に取り組むとともに、第５次総合計画に示している「めざすまちの姿」の実現を図るとしています。同委員会では、３月11日・12日・16日・19日・25日の５日間にわたり、各事業項目などに対して質問、提言が行われました。

予算特別委員会委員

【委員長】大地正広
【副委員長】岡市栄次郎
【委員】前田富枝、長友克由、広瀬ひとみ、松岡ちひろ、八尾善之、奥野美佳、銀治谷知宏、高野寿陛、大濱暢祐、藤田幸久、千葉雅民、峠賢一（会派届出順）

一般会計予算 1763億円



※千円の位を四捨五入していますので、歳入・歳出における各費目の合計額と総額は一致しません。

（単位：千円、％）

会計別予算額	会計名	令和8年度	令和7年度	前年度比増減率
	一般会計	176,300,000	167,800,000	5.1
特別会計	国民健康保険	36,221,000	37,424,000	▲3.2
特別会計	自動車駐車場	116,000	98,000	18.4
特別会計	財産区	220,000	228,000	▲3.5
特別会計	介護保険	41,219,000	39,556,000	4.2
特別会計	後期高齢者医療	10,037,000	8,754,000	14.7
特別会計	母子父子寡婦福祉資金貸付金	23,000	25,000	▲8.0
企業会計	水道事業	16,372,694	14,053,372	16.5
企業会計	病院事業	16,085,405	14,773,700	8.9
企業会計	下水道事業	22,205,807	21,334,278	4.1
合計		318,799,906	304,046,350	4.9

※企業会計の予算は、収入と支出が必ずしも一致しないため、支出額を記載しています。

※質問の内容について、各議員が３項目を選定の上、要約して掲載しています（そのため、実際の発言口調とは異なる場合があります）。

公明党議員団　藤田幸久

交野久御山線歩道設置
事業用地取得のための土地権利者の理解を

議員　交野久御山線のＪＲ交野踏切周辺から津田踏切までの区間は歩道がなく、地元から早期設置が望まれている。８年度からの事業用地の取得で権利者の理解が得られないなどの課題を想定する。

課長　土地所有者が不明で、土地の境界確定に時間を要することや、土地や建物などの補償金額に関する権利者の理解が得られるよう、事業推進に向け、府と連携の上、権利者の理解を得るための協議を進めるよう要望する。

交野踏切から津田踏切までの歩道がない道路

私立幼稚園等　障害児の受入れ状況改善に向けた取組を

議員　公立幼稚園に偏在している障害児の受入れ状況の解消につなげるため、私立幼稚園等への補助制度を創設するというが、児童数の見込みを聞く。

課長　６年度に市内の私立幼稚園等へ実施した、支援を要する児童の受入れ状況のアンケート結果により、該当児童を５人と見込んでいる。

要望等　一人でも多くの障害児が幼児教育を受けられる環境整備とともに、一層の教育の質の向上に向けた取組を求める。

わんふー　利用時間外の施錠等安全な運営管理を

議員　王仁公園に設置される子どもに人気の遊具「ふわふわドーム」の完成までの工事スケジュールと利用開始時期を聞く。

課長　国庫補助金の交付決定後、速やかに工事発注を行う。利用開始は、９年３月末の予定である。

要望等　同公園では利用者のマナー違反等により、スケートボード広場が一時閉鎖された事例もある。利用時間外は施錠するなど、安全な運営に向けた取組の検討を求める。

土曜保育　遠い施設へ行かせる合同保育はやめるべき

議員　８年度から、渚西臨時保育室の土曜保育は、蹉跎西臨時保育室において合同で実施するという。なぜ通う施設で土曜保育ができないのか。

課長　いずれの施設も土曜保育の利用者は１～３人程度であり、集団保育の保証や効率的な運営を行う観点から合同保育とする。

臨時保育室での保育の様子
（写真は蹉跎西臨時保育室）

要望等　車のない家庭はどうするのか。日頃交流もない遠い施設へ行かせる土曜日の合同保育はやめるべきである。

護養別人ホーム　特老　待機者解消に向け対策を講じるべき

議員　７年４月１日時点で特別養護老人ホームへの入所の必要性が高い人は458人と、府内中核市で最多だが、ひらかた高齢者保健福祉計画21第９期にある地域密着型特別養護老人ホーム29床は未整備である。待機者状況への市長の見解を聞く。

市長　本市の課題と認識し、今後検討していく。さきの12月定例月議会で提案した国有地を活用した同ホームの誘致など、同計画を達成するための対策を求める。

要望等　核家族化が進む中、頑張り過ぎる親の孤立を防ぐため、同事業の利用を促す取組を求める。

枚方市駅周辺再整備　市有地活用も含めた可能性調査の継続を

議員　枚方市駅周辺再整備に係る新庁舎位置の客観的かつ公平な評価には、現状把握と課題整理が必要だが、今後の検討内容を聞く。

課長　業務委託により複数の庁舎位置の課題や利点を明確化し、比較評価を行う。そこで得られた資料を基に議論を進める。

要望等　将来的な市場ニーズの長期的な予測は難しいと考えるが、市有地の定期借地の可能性も含めた調査継続を要望する。

バス路線廃止　住民ニーズに応える代替交通導入を

議員　都市交通会議において８年度の本市北部地域におけるバスの一般路線廃止計画が示された。87系統は特に深刻で、廃止となれば当該地域の交通の便がなくなるが、代替交通の導入について聞く。

課長　同会議で代替交通が必要と判断すれば速やかに導入に向け取り組む。

要望等　当該バス停で廃止の告知をすべきである。また、様々な困難を抱える住民のニーズに応えるよう求める。

生活保護業務　生成ＡＩの導入で寄り添うサービスを

公明党議員団　千葉雅民

議員　生活保護業務で生成ＡＩ支援サービスを導入し、面談時の音声記録から報告書を生成する等、活用を図るというが、想定している効果を聞く。

課長　記録作成時間の削減を図り、ケースワーカーの負担を軽減するとともに、その時間を訪問時間に充てるなど、市民サービスの充実につなげる。

生成ＡＩ支援サービスが導入される生活保護に係る面談の様子

要望等　生成ＡＩの活用を単なる業務効率化にとどめず、一人一人に寄り添った行政サービスの実現につなげるよう求める。

天野川全体の魅力向上へにぎわい創出の取組を

議員　天野川の活用に向け、ハードとソフトの両面で検討を進めるというが、最終的にどのような活用を考えているのか聞く。

課長　枚方市駅周辺の天野川を人の流れをつくる回遊の軸として利活用し、親水性の高い水辺空間の整備やにぎわいを創出する多様な施策展開で、ウォーカブルなまちを目指す。

要望等　星丘や村野など複数地域を流れる天野川全体を一体的な地域資源と捉え、川沿い全体の魅力向上に向けた憩いや交流の場の整備を要望する。

難病患者　関係機関と連携強化で包括的支援の強化を

議員　難病患者の在宅療養支援は、医療や介護等の多機関、多職種との連携が不可欠であるが、今後の取組をどう進めるのか。

課長　難病対策地域協議会等と課題の共有や対策の検討を行っている。今後も個別支援での連携や支援体制の強化に取り組む。

要望等　難病は医療に加え、就労や子育て等を包括的に支援する体制が重要なため、同協議会との一層の連携強化を求める。

学校給食費相当分の支援を

大阪維新の会　枚方市議会議員団　鍛治谷知宏

議員　小学校給食無償化の制度に係る国からの交付金のうち、アレルギーや不登校による非喫食者の給食費相当額の取扱いと支援の方向性を聞く。

課長　不用額として国に返金する。今後、国から示される非喫食者に対する支援基準や、他市の制度などの情報収集を行う。

要望等　本制度の趣旨を踏まえ公平性を確保するためにも、非喫食者に対する給食費相当分の支援について具体的な制度設計の早期検討を要望する。

小学校給食の様子

施設マネジメント　公共マネジ　市民サービスの維持を

議員　８年度で本市の公共施設マネジメント（＊１）推進計画の更新時期を迎える。人口減少の進行や厳しい財政状況が見込まれる中、同計画改定に当たっての考えを聞く。

課長　施設評価手法の見直しとともに、将来の人口規模等に応じた施設総量の最適化に向け、複合化や統廃合等による施設の適正配置等を整理していく。

要望等　施設総量を縮小する中でも、施設の魅力を高め、その時代に求められる市民サービスの質を維持する取組を求める。

生成ＡＩの活用で行政サービスの向上を

議員　８年度導入のツールにより、全職員が生成ＡＩを利用できるというが、今後の取組を聞く。

課長　ツールの導入に向けた検証を進め、ガイドラインの策定などで、生成ＡＩの活用による一層の事務の効率化を図る。

要望等　限られた人材や財源の中、ＡＩの活用は不可欠である。職員の働き方を変えながら行政サービスの質の向上につなげる取組を求める。

産後ケア事業　孤立を防ぐためにも事業利用を促す取組を

大阪維新の会　枚方市議会議員団　大濱暢祐

議員　８年度の産後ケア事業を提供する施設への委託料は、７年度当初予算と比べ、どの程度の増額なのか。その理由も聞く。

課長　3864万円の増額となる。利用者増加に加え、８年４月から府が締結する集合契約に参画することで、生後４か月以上の子どもを受入れできる府内施設の利用等が可能となるため、さらなる利用者増加を見込んだ。

産後ケア事業のリーフレット

次期総合計画　正確な施策評価へ分析手法の見直しを

議員　市民意識調査の結果を第５次総合計画（＊２）の推進に向けた施策評価に活用しているというが、７年度の同調査の分析は、属性や地域の差を考慮していない単純な集計結果を評価基盤にしている。評価精度を高めるため、分析手法の検証と見直しが必要ではないか。

課長　より正確な施策評価には、地域等と各施策満足度との相関の分析が必要と認識しており、その手法等を検討していく。

前立腺がん検診　突然廃止する対応あまりに冷たいのでは

自由民主党・無所属の会　前田富枝

議員　がん対策事業経費を削減し、８年度から前立腺がん検診を市が実施する検診から外すという。毎年受診者が多い同検診をなぜ廃止するのか。

課長　市が実施する、いわゆる対策型検診に適さないという国の指針があり、医師会等と協議を重ね、今回見直しを図った。

要望等　罹患者が多い同がんの検診を、突然廃止する市の対応はあまりにも市民に冷たく、誰に寄り添った施策を進めるつもりなのか理解できない。

ドライ化の改修がされていない小学校併設の単独調理場

給食の改修　小学校調理場の在り方を考えるべき

議員　小学校給食調理場の改修予算は計画どおり計上されているのか。

課長　調理場の維持や更新は学校給食施設整備に関する方針を基に行うが、一部計上に至らなかった。

要望等　ドライ化改修されていない単独調理場にはスポットクーラーしかなく、夏は室温25度を超える中で日々調理されている。安全な職場環境の確保に向け対応しないながら、単独調理場の在り方自体を考えるべきである。

庁舎位置　条例否決から3年半今になって比較検討が

議員　枚方市駅周辺再整備に係る庁舎位置の検討等の委託費約7511万円を計上しているが、これまで④・⑤街区（＊３）にかけた委託費用を聞く。

課長　調査検討等の費用の総額は、約1億290１万円である。

要望等　庁舎位置に関する条例の否決から３年半だが、なぜ今になって予算を取ってまで比較検討するのか。否決時点で、職員の能力を活用し検討していれば余計な費用は不要だったと意見する。

ぎかい探Q豆知識　◆法令や条例が公布されたものの、まだ効力が発生していない状態のことを未施行という。